

【開催報告】

日中省エネルギー・環境総合フォーラムに向けた 日中グリーン発展省エネ・環境技術交流会（青島、オンライン開催）

2020年10月30日
一般財団法人 日中経済協会

日中経済協会は経済産業省と、中国側指導単位である国家発展改革委員会資源節約環境保護司、主催単位・国家発展改革委員会国際合作中心、青島市人民政府との共催により、10月22日に表題の交流会を開催いたしました。開催の約2週間前に青島市で新型コロナウイルスの新規感染者が確認されたため、急遽完全オンライン形式での開催に変更となりましたが、日本企業12社、中国企業6社にプレゼンテーションで熱意のあるご発言をいただきました。

当日、プレゼンターの方にはオンライン中継地点となる青島会場か日本会場にご参集いただくか、北京や上海などのオフィスから直接ZOOMに接続してプレゼンテーションをしていただきましたが、接続トラブルなどで資料が適切に表示されない場面もございました。また技術的な問題により予定していましたマッチング交流会は中止となり、さらに一部の一般視聴者の方には配信サイトをご覧いただけない事態も発生するなどご迷惑をおかけいたしました。お詫び申し上げますとともに、今回の課題、皆様からのご意見も踏まえて、今後の日中双方の交流促進に活かして参ります。

一方、一般視聴者向け配信サイトではピーク時で約5700名の方にご覧いただき、改めて青島市における省エネ環境ビジネスへの関心の高さが表れた技術交流会となりました。この成果をご参加いただいた皆様のビジネスに繋げるべく、鋭意フォローして参ります。

日時：10月22日（木）13：30～16：30（中国時間）/14：30～17：30（日本時間）

場所：東京会場 日中経済協会東京本部 大会議室
青島会場 青島日本国際客庁
（ZOOMにて両会場をオンライン中継）

開催機関：

日本側：経済産業省
日中経済協会

中国側：

指導単位：国家発展改革委員会資源節約環境保護司
主催単位：青島市人民政府
国家発展改革委員会国際合作中心

実施機関：青島市発展改革委員会
青島国際経済合作区管理委員会

参加実績(申込ベース)：

日本側：43 社（オンライン視聴のみの参加者を含む）

中国側：51 社（同上）

オンライン視聴：ピーク時で 約 5700 人



<青島会場の様子>



<日本会場の様子>

1. 開会あいさつ（14:30～15:00）※以下全て日本時間

開会にあたり、日中5名の来賓が青島や北京、日本からご挨拶しました。



(1) 陸冬森 国家発展改革委員会環資司処長

日中省エネ・環境総合フォーラムは環境分野の日中提携のひとつの大きな成果であり、深みと温もりを感じられるチャンネルとなった。我々は制度改革、新たな産業の構築を推進して省エネ環境市場のニーズに対応したい。発改委として今後も経産省、日中経済協会と力を合わせて取り組みたい。本日はオンラインで省エネ環境技術交流会に参加でき嬉しく思うと同時に、日中双方の提携しようとするモチベーションをしみじみ感じる。オンライン空間でコロナの壁を壊してマッチングしようとする非常に意義のあるイベントだ。十分に交流し、より多くの経験を達成しましょう。



(2) 小林浩史 経済産業省通商政策局北東アジア課課長

日中両国の経済関係は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けてもなお強固に結びついている。青島市ははじめ山東省には幅広い分野の日本企業が1,700社以上進出し、活発なビジネス交流が行われている。特に省エネ・環境分野の取組は、両国共通の社会課題を解決し、持続可能な成長に大きく寄与するため、特に力を入れ更なる深化を図り

たい。昨年 12 月に東京で開催した第 13 回フォーラムでは青島国際経済協力区内における省エネ・環境保護に配慮した都市建設計画など、全体で 4 件の山東省関係の協力案件が生まれている。本日の交流機会 で新たな協力案件が数多く生まれることを切に期待している。



(3) 杉田定大 日中経済協会専務理事

ここ数年ハイレベル往来はもとより日中間での経済交流は大変盛んになってきたところで、新型コロナウイルスにより本年は数多くの日中交流事業が中止・延期になった。しかし本日は、オンライン形式によって日中双方の多くの方々と日中間交流ができることを嬉しく思う。本技術交流会ではグリーンファイナンスや海洋ゴミ処理など、省エネ・環境ビジネスや、世界的な環境問題に挑戦する新たな分野でも交流を図る。本交流を通じて、日本企業と青島市の

企業とのビジネスチャンスが更に広がるとともに、来年は新型コロナウイルスが収束し日中の企業が直接交流できることを願っている。



(4) 劉建興 国家発展改革委員会国際合作中心副主任

発改委と経産省が主導するフォーラムは両国の経済分野において最も代表的で影響力のあるプラットフォームとなった。我々は担当機関として十数年来日本側とこのプラットフォームを構築し成果を収めてきた。青島市は中国で最もハイレベルな対外開放の代表都市。山東省内でも主導的役割を果たしており、今年 4 月発改委が承認した中日地区発展合作示範区で唯一の省エネ協力分野での示範区。今回は

はやむを得ずオンラインで開催しているが依然として積極的な参加を得ており、両国の省エネ協力の活力と潜在力が表れており、未来に対し大きな自信を持たせてくれる。本交流会の成功を祈る。



(5) 劉繼成 青島市政府副秘書長

青島は中国北方地域で最も早く改革開放を実行した沿岸都市であり中日協力の最先端を走ってきた都市。長年の努力により各分野での対日交流の基盤は強固かつ成果は豊かで、日本は現在青島市の 3 番目の貿易投資のパートナーだ。今年はコロナの影響もあり中日はより手を携え、新たな成長点を求めなければならない。青島会場の青島日本国際客庁は中日間の企業紹介機関として日本企業のために

法律、財務、ビザなどのサービスを提供し、今年 5 月 19 日に正式にスタートして以来、160 以上の機関を受け入れ、延べ 2000 人以上が訪問している。より多くの企業、機関に青

島に来ていただき、ここで発展していきましょう。

主催者挨拶の後に続けて、青島会場が所在する「中日（青島）地区発展合作示範区」の紹介が行われました。

04 青島日本国際客庁
青島日本国際ビジネスハブ

今年5月19日、正式揭牌启用
2020年5月19日、除幕し、正式に稼働

- 开馆以来、接洽、接待政府、机构、协会、企业约260余批，共计2500余人次，签约、落户企业机构24家、挂牌入住20家，举办推介/路演活动19次，展览活动6次。
- 開業以来、政府、機構、協会、企業との打ち合わせ、接待することが260回以上、延べ2500人あり、契約企業機構が24社、駐在企業が20社、プロモーション/ロードショーが19回、展覽活動が6回開催された。



(紹介スライドから抜粋)

2. 日中企業による技術・設備プレゼンテーション (15:00~17:45)

日本企業 12 社、中国企業 6 社が分野ごとにプレゼンテーションを行いました。各社が各々の製品・サービスの特長や技術の応用例について、資料を画面に共有して説明しました。

<プレゼンテーション企業 日中計 18 社>

【グリーンファイナンス】

- 1 MUFG バンク (中国) 有限公司(青島会場)

【省エネルギー】

- 2 昭和電工アルミ販売株式会社(東京会場)
- 3 富士電機株式会社(オンライン)
- 4 アズビルコントロールソリューション有限公司(オンライン)
- 5 MIRAI-LABO・オークネット(東京会場)
- 6 海尔卡奥斯物联生态科技有限公司中国 (中国側、青島会場)

【大気・環境対策】

- 7 日揮ホールディングス株式会社(オンライン)

- 8 株式会社くりんか(東京会場)
- 9 青島華世潔環保科技有限公司(中国側、青島会場)
- 10 昊姆(上海)节能科技有限公司(中国側、青島会場)

【水および汚泥処理】

- 11 株式会社 J&C(オンライン)
- 12 青島思普潤水处理股份有限公司(中国側、青島会場)
- 13 青島巨川環保科技有限公司(中国側、青島会場)

【海洋プラスチックゴミ対策】

- 14 株式会社 堀場製作所(東京会場)

【土壤汚染対策】

- 15 循高(上海)環境技術有限公司(オンライン)
- 16 上海速宜環境科技有限公司(オンライン)
- 17 株式会社トーワ建設(東京会場)

【ゴミ処理対策】

- 18 上海康恒環境股份有限公司(中国側、上海)



日本会場からのプレゼンテーションを聴く青島会場の様子。



一般視聴者向けの配信サイトでも、プレゼンターとプレゼン資料を配置した画面が同時配信されていました。

■参加企業一覧

日本側参加企業（五十音順）	中国側参加企業（順不同）
1. AUCNET HK Limited	1. 青岛华世洁环保科技有限公司
2. IDEA STOCK 株式会社	2. 昊姆（上海）节能科技有限公司
3. 株式会社 IngDanJapan	3. 青岛思普润水处理股份有限公司
4. JTB コミュニケーションズ・チャイナ	4. 海尔卡奥斯物联生态科技有限公司
5. 株式会社 J&C	5. 青岛巨川环保科技有限公司
6. MUFG バンク（中国）有限公司	6. 青岛吉美来科技有限公司
7. アズビルコントロールソリューション（上海）	7. 青岛威羽山环保科技有限公司
8. 石川島（上海）管理有限公司 北京分公司	8. 青岛容广电子技术有限公司
9. 出光能源諮詢（北京）有限公司	9. 山东绿天使投资集团有限公司
10. 伊藤忠（青島）有限公司	10. 青岛永佳世代环保科技有限公司
11. 荏原机械（中国）有限公司	11. 青岛浩澳环保科技有限公司
12. 株式会社くりんか	12. 青岛艳阳天环保科技有限公司
13. 株式会社国際協力銀行	13. 赛飞特工程技术集团有限公司
14. 上海速宜環境科技有限公司	14. 青岛嘉禾环保工程有限公司
15. 循高（上海）環境技術有限公司	15. 青岛国标环保有限公司
16. 昭和電工アルミ販売株式会社	16. 青岛新欧亚现代海洋有限公司
17. 青島住友商事有限公司	17. 青岛物华万通节能科技有限公司
18. 株式会社 大成閣プランニング	18. 青岛西子环保研究院有限公司
	19. 青岛驭腾测试技术有限公司
	20. 青岛佳明测控科技股份有限公司

19. 高砂建築工程（中国）株式会社	21. 青島新東機械有限公司
20. 中部エコテック（大連）環境技術有限公司	22. 中車工業研究院有限公司
21. 中倫外国法事務弁護士事務所	23. 青島外事服務職業學校
22. テピア環境インターナショナル	24. 中國石油天然氣股份有限公司石油化工研究院
23. 東洋証券株式会社上海駐在員事務所	25. 國網綜合能源服務集團有限公司
24. 株式会社トクヤマ	26. 安泰環境工程技術有限公司
25. 豊田通商（上海）有限公司	27. 蘇州中車氫能動力技術有限公司
26. 株式会社トーワ建設	28. 山東鐵雄冶金科技有限責任公司
27. 日揮ホールディングス株式会社	29. 深圳市節能與資源綜合利用專家聯合會
28. 日中投資促進機構	30. 上海康恒環境股份有限公司
29. 日鉄設備工程（上海）有限公司	31. 青島京誠節能環保科技园有限公司
30. 日鉄物産株式会社・北京事務所	32. 北京揚德環境科技股份有限責任公司
31. 日本興亜財産保険（中国）有限責任公司	33. 蘇州納故環保科技有限責任公司
32. 株式会社ニルス	34. 山東綠然環保科技有限責任公司
33. ハイケム株式会社	35. 山東潔盟節能環保技術有限公司
34. 富士電機	36. 青島高科熱力有限公司
35. 株式会社 堀場製作所	37. 青島恒源熱電有限公司
36. 松下電器中國北東アジア社	38. 青島即發集團控股有限責任公司
37. 三浦工業株式会社	39. 光大環保能源（平度）有限公司
38. みずほ銀行（中国）有限公司青島支店	40. 青島叢榮環保科技有限責任公司
39. 三菱商事（青島）有限公司	41. 青島凱能環保科技股份有限責任公司
40. 三井住友銀行（中国）有限公司	42. 青島麗安防護新材有限公司
41. 三菱電機（中国）有限公司	43. 日環（山東）環保科技有限責任公司
42. 株式会社ミノテック	44. 山東乾元澤孚科技股份有限責任公司
43. 雪ヶ谷化学工業株式会社	45. 招遠市匯潮新能源科技有限責任公司
	46. 青島嶗山電子儀器總廠有限公司
	47. 青島能安恒信科技有限責任公司
	48. 青島北匯玻璃有限公司
	49. 山東翔宇藍天環保工程有限責任公司
	50. 山東敏德環保工程有限責任公司
	51. 山東天益環保測控有限責任公司

※申込ベース

以上